

増穂だより

vol.219



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日 / 令和2年3月21日 発行
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



高校 38 期 卒業記念品「懸垂幕装置一式」

Contents

■ 巻頭 (副校長)	2P	■ 高校第38期生卒業	5P
■ 各部情報 (厚生/保健室/クオレ/図書室/事務室)	3P	■ 学年情報 (中学/高校)	6P
■ 生徒会情報 (中学/高校) /全国中学高校Webコンテスト (中学/高校)	4P	■ PTA・後援部情報	7P
		■ トピックス (吹奏楽部/コンピュータ部/水泳部 /PTA文化講演会) /あとがき	8P

副校長 久保田 剛司

曖昧なタイトルですが、『夢のような』はなし、ではなく文字通り『夢』についてのはなしです。近年の様々な研究成果から、夢について興味深い発見が相次いでいることがTV番組で紹介されていました。かのアインシュタインが相対性理論を思いついたのも、メンデルレーエフが周期表の着想を得たのも、はたまたベートルズの名曲「YESTERDAY」のメロディーが浮かんだのも、何れも夢の中だったというのは有名な話です。

1. 夢研究の歴史

19世紀末の精神分析の祖であるフロイトは、「現実世界で満たされなかった願望が夢の中で充足される」とし、一方20世紀初頭の分析心理学の祖ユングは、「太古の世界の人々の経験が集めた無意識として夢に出てくる」と考えました。何れも夢には意味がある、という説です。その後、1930年代に脳波計が発達し、1953年にREM (Rapid Eye Movement) 睡眠が発見されると、「脳のランダムな刺激で夢が見えてしまう」(ホブソン) とする、夢には意味がないとの説が登場します。ところが20世紀末に、脳の中の欲望を司る部位が傷つくと夢を見られなくなることが判明し、再び「夢の源は欲望である」(ソームズ) と考える研究者が現れました。将にフロイトの説への回帰です。



フロイト

ユング

2. 夢研究の現在

現代の夢研究はどのように行われているのでしょうか。実験心理学を専門とする広島大学総合科学研究科行動科学講座の小川景子先生は、研究室の学生を被験者とし、実際に見た夢を採取しています。研究室内に防音室を設置、頭や体に約30個のセンサーを着けた被験者に寝て貰い、REM睡眠に入った瞬間に起こしてどんな夢を見ていたかを記録します。「見たい夢を見られるか」というテーマで、被験者は予め見たい夢を念じてから実験に臨みます。この日の被験者である3年生の女性が念じたのは、ジャンプのKing&Princeのメンバーと話をした夢でした。観察者は被験者の脳波と特に目の動きをモニターします。REM睡眠に入った瞬間を見逃すと、被験者が夢を忘れてしまう確率が高くなるため観察者も緊張の連続、被験者・観察者双方にとって負担の大きい実験です。さて、どんな夢を見たのでしょうか。この時は、実験が上手くいかず普段は優しい先輩に怒られている夢でした。先生によれば、無意識のうちに実験が上手くいかなかったらどうしようと思っていた、という分析でした。私たちは普通、毎晩夢を見ているとは思っていません。しかし先生によれば、約90分毎に訪れるREM睡眠時には必ず夢を見ており、一晩に3〜4回は見ているそうです。要は覚えていないだけなのです。

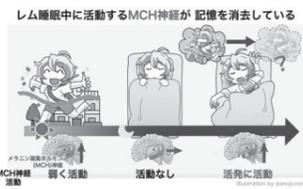
3. 夢はなぜ忘れやすいのか

2019年9月、有名な科学雑誌「Science」に驚くべき論文が掲載されました。何と脳内に夢を消すしくみが存在するというのです。著者は名古屋大学環境医学研究所の山中章弘教授で、脳の視床下部にある「MCH神経」がREM睡眠中に夢を消去していることを動物実験で確認しました。MCH神経は摂食行動に関わることが知られており、空腹時に活性化して食欲を調節していると考えられています。ところが2009年に睡眠中にも活発に働いて

いることが発見され、以来山中先生はMCH神経が何をしているのか、その解明に取り組んできました。マウスの脳に光ファイバーを挿入し、光で神経の働きをコントロールする「オプトジェネティクス」という最新技術を用いて、マウスが睡眠に入る前にMCH神経のはたらきをOFFにした時としない時とで、マウスの行動にどのような差が出るかを観察しました。マウスは好奇心旺盛で、初めて見るものには何度も近寄る習性があります。そこでマウスの飼育箱におもちゃのバナナを置くと、どのマウスも必ず近寄ってきます。ところがMCH神経のはたらきをOFFにして睡眠を取らせたマウスは、おもちゃのバナナに全く関心を示さないのに対して、何もせずに睡眠を取らせたマウスはバナナに何度も近寄ってきます。すなわち、睡眠中におもちゃのバナナの記憶が消去されたと考えられます。一般的に、記憶は睡眠を取ることによって定着すると言われています。

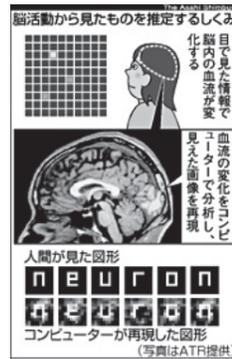
このこと、MCH神経のはたらきはどのような関係になっているのでしょうか。

人間はほぼ90分おきにREM睡眠とNon-REM睡眠を繰り返します。MCH神経はREM睡眠中しか活動しないので、Non-REM睡眠には記憶が定着し、REM睡眠は記憶を消去する役割を担って、記憶の整理をしていると考えられるのです。



4. 他人の夢を覗く

京都大学大学院情報科学研究科の神谷之康教授は、fMRI (機能的核磁気共鳴画像装置) を用いて、被験者に様々な画像を見せ脳の後頭部にある視覚野の血流パターンをミリ単位で立体的に記録し、AIに深層学習させました。すなわち右の図のように血流パターンを測定すれば、見ている像を再現できるデータベースを作ったのです。そして被験者が夢を見ているときの血流パターンから、右図のような単純な図形に留まらず、トラやカメレオンも再現できるようになり、夢の映像化に一歩近づいています。



5. 夢の意味

そして神谷先生は、夢の意味について、ユニークな仮説を立てています。ヒトの胎児は一日の多くの時間をREM睡眠に費やしている、と言われています。夢を見ているのかどうかは不明ですが、先生は胎児のREM睡眠中に原初的な意識体験が生じており、生まれてから外界と接する中で変化が起こる、いわば夢が意識や心の根源であると考えています。とすれば、夢はその人の脳の発想やイメージが湧き出る源であり、普段はなかなか発揮できない純粋な想像力が湧き出る場なのかもしれません。夢の研究は、意識や思考の発生解明につながる可能性を秘めているのです。その一歩となるのが、夢記録の収集、米国の研究者が1960年代に立ち上げた「Dream Bank」には、現在2万例以上の夢記録が収集され、将来その分析から新たな発見が期待されます。皆さんも、枕もとにノートとペンを用意し、夢記録をネット上の「Dream Bank」にアップしてみませんか。

[出典：NHKEテレ「サイエンスZERO」19.12.22放送より]

各部情報

厚生部 1年間の取り組み

厚生部では、生徒や教職員の健康を推進し、安全を確保するために、1年間様々な取り組みをしてきました。

夏休みは熱中症予防のために、校内外の温度や湿度を測定し、基準値を超えた場合は部活顧問に注意を喚起しました。

また、冬休みの一斉休暇中に、壁の塗り替えをした、中学棟2階コモンスペースと高校棟男子トイレの室内物質検査を実施しました。一定時間部屋を密閉し、専用キットを用いてホルムアルデヒドなど6項目の化学物質濃度を測定し、専門機関に分析を依頼しました。その結果、いずれも基準値を下回る旨、報告が届きましたので、今後も安心して使用できます。

中高の福祉委員会、中学保健委員会も校内外の活動に積極的に参加し、充実した取り組みができました。

春休み中も規則正しい生活を心掛け、新年度に向けて身体と心を整えてください。

クオレ 情報と不安と

新型コロナウイルスによる感染、拡大の影響で、学校が臨時休校となり、子ども達は多くの時間を家の中で過ごしていると思います。そのため、テレビやインターネット等に触れる時間も多くなり、日々、新しい沢山の情報に接しているのではないのでしょうか。情報は多すぎると、逆に事実(ファクト)を見極めることが難しくなる、そのことを知っててください。また、人は不安になると、不安を打ち消そうとして、情報を集めなくなる特性を持っています。不安を大きくしないためにも、情報の収集には時間を絞ることも必要です。何が事実(ファクト)か、何がフェイクか、把握できる力が求められています。

不安が強くなったときは、一人で抱えずに、ぜひ、誰かに話をしてください。人に話をすること、人とつながることは、安心感を生むこととなり、不安の解消に役立っていきます。

保健室 手洗いの効果

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)等の感染症の予防として手洗いが有効です。報道等で目にすることが多くあり、今回の事をきっかけに、自分の手洗いの方法を見直した人もいたのではないのでしょうか。

石鹸による手洗いの習慣がないパキスタンの家庭を対象に、手洗いの効果を検証した海外の研究があります。石鹸で正しい方法で手洗いをを行った子供達と、そうでない子供達を、1年にわたり観察し、咳などの呼吸器症状や下痢などの消化器症状の発生の頻度を比較しました。石鹸で手洗いをを行った子供達の方が明らかに、呼吸器症状、消化器症状の頻度が少なくなっており、石鹸による手洗いは感染症の予防に効果的であることが示されました。

手洗いの手順は厚生労働省のホームページ等に掲載しています。一度、確認をしながら、実際に手を洗ってみてはいかがでしょうか。

図書室 春休み期間中のお知らせ

今年度も多くの生徒さんの図書貸出利用がありました。

貸出冊数、400冊以上1人、300冊以上1人、200冊以上7人、100冊以上13人でした。うち、高校生1人、あとは全て中学生です。みなさん意欲的に読書に取り組んでいました。

芝柏図書室はみなさんが読みたい本、話題の本から勉強に役立つ本まで、幅広く揃えています。利用の少ない高校生!勉強の合間に息抜きがてら、図書室に足を運んでみてください。

図書室は春休み期間中も、授業日と同様の時間帯で開室しています。みなさんの利用をお待ちしています。

- ◆月～金曜日 9:00～16:00
- ◆土曜日 9:00～14:00
- 3. 臨時休校期間中に続き、春休み期間中もスクールバスを特別時刻表に基づいて運行します。利用に際しては、発車時刻等についてウェブサイト・掲示等で確認してください。
- ◆春休み開室日時：月～土 9:00～17:00
- ◆閉室日：4月7日(火) ※入学式 春休み特別貸出： 3月11日(水)～4月6日(月) ☆1人5冊まで
- ◆特別貸出返却日：4月13日(月)

事務室 年度末のご連絡とお願い

【ご連絡】 《年度末の工事について》

新年度の授業に間に合わせるべく、ホール棟内教室と理科実験室の黒板をプロジェクター投影汎用白板にリニューアルします。これにより、中高6学年すべての普通教室で、超短焦点型プロジェクターと白板をフルに活用した授業が展開できるようになります。

《東武バス(高校生のための柏⇄学校間直通路線バス)定期券について》

東武バスの定期券が次年度より一律「金額式IC定期券」(…仮に200円券を持っていれば、200円区間は停留所の指定なくどこでも乗車できる使い勝手のよい定期券…)に切り替わります。売店が仲介して紙の定期券をクラス担任より渡す従来のやり方が不可能となりますので、東武バスを利用する高校生は、4月以降東武鉄道の駅で個別に定期券を購入していただくこととなります(☎通学証明書が必要な場合は、事務室で事前に発行を依頼してください)。また、スクールバスに乗車する際は、期限の切れていない「IC定期券内容控」を提示する必要がありますので、あわせてご承知おきください。

【生徒の皆さんへのお願い】

1. 忘れ物・落とし物がたまっています。何か足りないと感じたら、まずは事務室に届けられていないか確認に来てください。
2. 春休みに向けて「JR学割証」が必要な人も増えることでしょう。それに限らず、春休み期間中の諸証明書類の発行申請は、生徒証を持参のうえ、原則的に以下の時間内をお願いします。

生徒会情報

中学

中学生徒会活動と新生徒会

今年度も終わりに近づきましたが、中学生徒会は、生徒の声を学校生活に反映させようとアンケート調査を実施したり、投書箱を設置して話し合って回答するなど、ますます積極的に活発に活動をしました。大変良い取り組みができた1年だったと思います。

来年度の生徒会選挙では、会長や副会長などで複数の立候補者が出て、立会演説会も活発に行われました。ここ数年の生徒会の活発な活動が良い影響を与えているようです。来年度の活動も大いに期待しています。

最後に、今年度の生徒会役員の方のご苦労さまでした。石井会長のもと、皆が意見を出し合いがんばってくれたと思います。新しいアイデアを出し、活動を活発化しようという意志が感じられました。ありがとうございました。



高校

高校 40 期生徒会の紹介

高校生徒会役員選挙が昨年12月に行われ、会長に1-6の土肥花恋さん、副会長に1-8の斎藤聡太君と1-8の坂田俊介君が選出されました。土肥さんは立会演説時に『芝柏に新しい風を吹き込みたい』と言っておりました。どんな『風』が吹くのか、楽しみにしたいと思います。その後他の役員を募集し、(とても色々苦労しましたが…)会計に1-1の北圭吾君と1-5の石渡凌太君、書記に1-1樋口佳帆さんと1-6の横溝真さん、庶務に1-2の下川皓生君と1-3の矢内良憲君に決まりました。中入・高入・男女バランスも良く、とても期待できるメンバーが集まってくれました。認証式で校長先生からお言葉をいただき、改めて責任の大きさを感、また、よしやってみよう!という強い思いが芽生えたことだと思います。生徒会役員が『ワンチーム』になって、新たな伝統を築いていくことを陰ながら見守っていきたいと思います。最後に39期生徒会役員の方のご苦労さまでした。今後とも後輩たちの活動を、ときに気にかけてくれると嬉しく思います。



◆ 全国中学高校 Web コンテスト ◆

中学

祝・最優秀賞受賞

第22回全国中学高校Webコンテストのファイナリストに残った中学2年チームの『シゴトとニホンジン～真の働き方改革とは～』と、中学3年チームの『発酵半端ないって!!』の結果についてご報告いたします。中学2年生の関君、荒井君、三村君による発表はとても落ち着いており、質問にも丁寧に答え観客の心をつかみ、見事金賞とオーディエンス賞を受賞しました。中学3年生の高見さん、増田さん、坂井君、栗本君は身近なところで利用されている『発酵』について興味を持ち、自分たちで全国13ヶ所の施設・工場を訪れ、発酵の魅力を伝えるサイトを作りました。結果は見事プラチナ賞・最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞することができました!正直、チーム内でも(コーチも含め)このような賞を受賞できるとは思っていませんでした。Webコンテストは学校外でもやるのがたくさんあり、とても大変です。賞を取ることももちろん大切ですが、それ以上にこの活動・経験が必ず将来の役に立つと思います。今後も本校生徒が自分の興味を持ったことに楽しく、かつ夢中になって取り組んでくれることを期待しております。

最後にチームの皆さんへ、みなさんの努力『半端ないって!!』



高校

終わりになき旅への誘い

2月15日(土)にファイナリストプレゼンテーションが行われ、本校では、フードロス問題を扱った『まって、それってムダじゃない?!』がプラチナ賞、IoTを用いた新たな都市モデルについてまとめた『スマートシティと未来都市』が銀賞を受賞した。両サイトはいわば現代社会の光と闇を提示しているといえよう。Society5.0が叫ばれるなか、モノ同士がインターネットを介してつながることで、生活の利便性はさらなる向上を遂げるだろう。その一方で、モノであふれかえった世の中には、機能を失った大量のゴミが廃棄されることになる。いずれのテーマも、「いま、ここ」を生きる高校生にとって、あまりにも大きな問題であったはずだ。彼らはきっと、風車に立ち向かうドン・キホーテのように、何度も打ちめされたに違いない。IoTの普及により実現される究極の未来都市も、フードロス問題が解決して世界から飢餓がなくなることも、人間にとって淡い夢物語にすぎないのだから。だが、彼方なる理想と目の前の現実の間にある埋めがたい亀裂を、試行錯誤して埋めようとする姿は、この上なく美しいものだ。これまでも、そしてこれからも、彼らは歩み続けていこう。探求という終わりになき旅路を。



高校 第38期生卒業

3月2日月曜日、38期生が卒業の日を迎えた。

今年度の卒業式は新型コロナウイルスの関係で規模を縮小して行われたが、38期卒業生の表情は晴れやかで、巣立つ者として可能性を感じさせる凛とした雰囲気を漂わせていた。



送辞(抄)

在校生代表

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今この場に立って初めてお別れなのだ実感し、淋しさが込み上げてきます。先輩方は、僕が苦しんでいる時、そっと傍に来て励まし、アドバイスを下さいました。

そんな先輩方の姿を胸に、今度は僕たちが皆さんのような、学校にとって欠かせないリーダーになれるよう、精一杯精進して参ります。

残念ながら、今年は在校生全員での参加が叶いませんでした。多くの同級生が式に参加できないことを悔やみ、僕と代わりたいた口にしていました。僕達はそれほど皆さんに感謝し、尊敬しています。いつ、どんな時でも僕達後輩にとって皆さんが、大好きで、素晴らしい先輩であることは変わりません。ですから、是非、そんな存在であるご自身に自信を持って下さい。

先輩方の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

答辞(抄)

卒業生代表

あしひきの山桜花日並べて
かく咲きたらばいと恋ひめやも
ここ、芝浦工業大学柏高等学校の建学の精神は、創造性の開発と個性の発揮です。私たち38期生はまさにこれを体現しているような学年です。皆が個性を持ち寄り、協力するといつも素晴らしい結果を出してきました。

そんな皆さんはこれから別々の道を歩み始めます。どんな環境であったとしても、この3年間で開発してきた創造性を存分に発揮して、目の前の物事に取り組んで欲しいと思います。

冒頭の山部赤人の和歌は「桜は短い間に散ってしまうからこそこれほど恋しく思われる」という意味です。卒業するとそれまで当たり前だと思っていたことの大切さに気づきます。この機会に伝えてみてはどうですか。いつも仲良くしている人に、ケンカしてしまった人に、競い合ったライバルに。「3年間ありがとう。」と。



3年生を送る会(高校)

今年度の3年生を送る会は、新型コロナウイルス拡大防止のため、中止となった。直接、大体育館で高校3年生を送ることはできなかったが、学年集会(高校3年生のみ)で在校生からの「ビデオレター」を流すことはできた。内容は①3年間の思い出のスライドショー②各部活動や先生から卒業生へのメッセージ③ダンス部のダンス動画。ビデオレターの編集に関しては1年8組の山本奎伍くんが快く引き受けてくれて素晴らしい動画を作ってくれた。3送会委員のメンバーはもちろん、ダンス部、携わってくれた方に感謝します。

38期生、卒業おめでとう。



学年情報

中学 1 年 シバカシ生活 1 周年

シバカシでの中学校生活も 1 周年を迎えています。生徒の皆さんにとってどのような 1 年だったでしょうか。学年目標として「気づき、自ら行動する思いやりのある仲間。返事・あいさつの出来る 1 年生」を掲げてきました。学年団は、相手の気持ちになって考え、お互いを認め合い、生徒達自身が自分達の手で『Team 21 期』を盛り上げるような集団づくりを目指しています。2 月のワールドデーでは視覚障害者の方による福祉講演会や白杖体験、探求活動や将来の自分を考えるきっかけとして OB 講演会を行いました。保護者の皆様には、お子様を元気に学校へ送りだしていただきありがとうございました。今後もお子様が有意義なシバカシ生活を送れるように手助けしたいと思います。引き続きよろしくお願ひ致します。



高校 1 年 限界を設けない

コロナの話は多分他のところでたくさんあると思うのでコロナ以外で。何をしますか？自分で限界を決めたらその限界より先に行くことは出来なくなります。皆さんにはどこまでも飛べる素晴らしい力があります。自分一人では出来ないこともチームで力を合わせればできる筈。これから一生でたった一度の高校 2 年生が始まります。勉強も部活も探究活動も友人関係も、すべてにおいて、悔いの残らない生活を送ってください。やりたいことはたくさんある。「これ」が一番大切で「これ」以外はやらない、ではなく、あれもこれも 1 年にしてほしい。ただそのためには計画です。時間を有効に使いましょ。人には平等に 1 日 24 時間あります。この 24 時間をどう使うかでその人の中身が決まります。卒業するときには中身のいっぱい詰まった、素敵な一人の人間でいて欲しいです。チーム 40 期、2020 年度も頑張ります。

中学 2 年 いざ最高学年へ！

1 月以降、福祉講演会、職場体験、English Camp と行事が続きました。職場体験は約 40 の事業所の方々にお世話になりました。仕事を通して、責任やプロとしての考え方に触れ、それぞれの仕事の人々の役に立って社会が成り立っていることを体感したこの経験は、今までとは違った視点から社会や自分を見つめる契機になれば幸いです。また、English Camp は急遽学校実施になりましたが、23 名のネイティブ講師が来校し、2 日間のプログラムの最後には一人ひとりがプレゼンテーションをして終了しました。たった 2 日間でしたが、個々の反省や思いはそのまま半年後の N Z 研修へ繋がっていくことでしょう。

さて、19 期生が卒業し、いよいよ最高学年を迎えます。先日の生徒会選挙も大変盛り上がりました。パワーを持った 20 期生が来年どのように芝柏を引っ張ってくれるのか、とても楽しみです。

高校 2 年 高校 2 年学年情報

3/2 (月) から、臨時休校により様々な教育活動が停止することとなりました。休校中の過ごし方、とくに学習についてご心配をおかけしました。学年では、google classroom を使い、各教科で課題を選定し提示しました。全員共通の課題は極力減らし、受験に向けて必要なものを自分で選びながら個々に学習が進められるようサポートしました。養ってきた自律心、自立心が試される期間となりましたが、最初のロケットが切り離され、受験へ向けての学習がより加速できたものと思います。春休みも引き続き頑張ってください。



中学 3 年 ともに最高の 1 年を終えて

世の中の先行きが不透明な中、なんとか全員揃って卒業式の日を迎え、生徒たちにひとつの区切りをつけてあげたい。そう祈りつつ、いまこの原稿に向かっていきます。そしてどのような結末になるにせよ、これが表に出る頃には、中学 19 期生 194 名は義務教育を修了し、まもなく訪れる新たな生活に前向きでいてくれるものと思います。3 年間、ご指導、ご支援いただいたたくさんの方々には厚く御礼申し上げます。またこれまで、時に先輩として慕い、時に 3 年生を脅かす良きライバルとして突き動かしてくれた後輩の皆さん、どうもありがとうございます。皆さんの存在がまちがいなく先輩としての自覚を芽生えさせ、最上級生として成長させてくれたと思います。人は色々なつながりの中で支え合い、影響し合いながら生きていることに改めて感謝し、次のステージへと歩みを進めたいと思っています。

高校 3 年 Make familiar things unfamiliar.

新しい世界に飛び出すことは、海外に行くことに例えるとわかりやすい。海外に出ると、自分が日本で身につけた当たり前のことが、実は現地ではそうではないことに気付かされる。また、海外生活に慣れた後、日本に帰ると、日本の当たり前と違和感を覚えることがある。こういう感覚になるとき新しい出会いをしたようで、なんとなく嬉しい。特に、今まであるのが当たり前のように思い、気にもかけなかったものに対しても、興味を示すきっかけを与えてくれる。このきっかけは自分自身の思考を柔軟にし、自分の偏った考えがあればそれに気づかせてくれる。この思考に慣れてくると異文化コミュニケーションが楽しくなる。「自分の常識は偏見である」と思うことは、異文化を背景にした人と接するときは、とても貴重にする。また、自分自身がジョウシキにこだわらなくなる。毎日自分の中の文化的偏りを探すのも楽しくなってくる。皆さんも自分のジョウシキを当たり前と思わないで進んでいってください。応援しています。

P T A 情報

2019 年度の P T A 活動を振り返って P T A 会長

日頃は、P T A 活動に多大なご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

1 年の活動行事としては、9 月には増穂祭、11 月には創立 40 周年記念式典、12 月には東京大学薬学部教授の池谷裕二先生をお招きして講演会を開催し、2 月には中学 3 年生の授業の一環として仕事塾を開催し 9 名のアドバイザー及び 7 名のスタッフの方々にご参加いただきました。増穂祭や仕事塾では、幹事の方だけでなくボランティアとしてたくさんの保護者の皆様にご協力いただき大変感謝しております。

2019 年度の活動行事も保護者の皆様、先生方のお力添えのおかげで無事終了することができました。この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

来年度も引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【中 1 学年代表 青木 知美】

幹事としての活動は主に、保護者の皆様と先生方との交流の場となる懇親会の準備、増穂祭や文化講演会等 P T A 活動としての行事が円滑に行われるためのお手伝いを行いました。幹事の役割を通して学校の取り組みや指針を身近で感じる事ができ、子供たちが生き生きと学校生活を送るための支援という価値のある体験もさせていただきました。

【中 2 学年代表 石戸 裕美】

学年代表を務めさせていただき、先生方をはじめ P T A 本部やクラス幹事の方々とたくさん交流することができました。さらに今年は 40 周年の式典や祝賀パーティーもあり、参加できたことは貴重な経験だったと思います。クラス幹事のメンバーにも恵まれ、楽しく充実した 1 年でした。ありがとうございました。



【中 3 学年代表 岡見 修哉】

学年代表を今年も務めさせていただきました。「誰でも軽負担で参加できる P T A」の姿を考えて行動を起こしました。アンケートのご協力など、大変感謝しております。皆様の理想ではなかったかもしれませんが、P T A のあり方を考える問題提起になれたのなら幸いです。1 年間お騒がせしました、ありがとうございました。

【高 1 学年代表 福田 稔之】

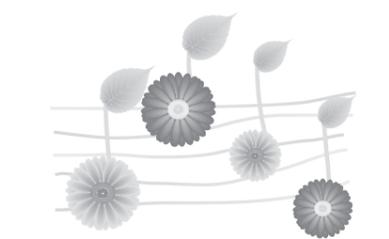
クラス幹事というものはなかなか負担感のあるものですが、それでも子どもたちの為にとその責務を引き受け、活動して下さった幹事の皆さんを心から尊敬します。台風の影響によるイレギュラーがあった中、本年度も無事に終わることができるのは皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。楽しい 1 年間でした。

【高 2 学年代表 渡辺 伸子】

今年は例年と違う形での懇親会の運営、台風被害に心を痛めながら準備を進めてきた増穂祭、40 周年記念式典への出席、文化講演会等、様々な行事がありました。他の本部役員、幹事の皆さま、先生方に支えていただきながら無事に 1 年を終えることができました。本当にありがとうございます。

【高 3 学年代表 高橋 敬子】

高 3 での役員活動は親として学校生活を通して子どもと関わることができた有意義な 1 年でした。増穂祭、謝恩会の準備など皆さまのご協力に感謝しております。3 年間、または 6 年間子どもたちの育ちを見守って下さった先生方、特に 38 期の学年団の先生方に感謝申し上げます。そして保護者の皆様方ありがとうございました。



後援部情報

今年度の活動を振り返って P T A 後援部部長

高校 38 期生、中学 19 期生のみならず、また、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

この学校を卒業され、それぞれの方面で勉学に励んだり、自分が将来どのような人になりたいかを追及したり、また、今しか出来ないことにチャレンジして経験を重ね、将来、社会でご活躍されるような人物になりますようお願いしております。

後援部は、保護者のみなさまからお預かりしている P T A 会費の一部を芝柏の生徒や教職員の教育環境に役に立つ様にどのような支援をするかを検討し実行していく役割を担っております。

施設・設備並びに教育用備品に関して、原則として中長期的視点を持って支援活動を行っております。

今年度の活動報告として、上期には中学棟廊下・階段の塗装という大規模修繕を無事に終え、同時に清掃用具箱もリニューアル致しました。生徒や保護者の皆様からはとても綺麗になり明るくなったと好評を頂いております。

その他には、野球部の防球ネット、吹奏楽部楽器保管ロッカー、ハンドボール部ユニフォーム等、教育用備品の支援を行ってまいりました。

下期には、プールの照明リニューアルの支援を決め、夕方でも視認性を高くし安全性を高め、高校 38 期生の卒業記念品であるグリーンホールに設置された懸垂幕レールに入れる垂幕を 3 本支援致しました。その他にも部活動での支援も行なってまいりました。

増穂祭での後援部カフェでのアンケートを参考にさせて頂きながら、引き続き、学校が早急に対応しにくい施設・設備の整備や生徒活動・部活動に必要な備品購入などの検討を行い、生徒や教職員の皆様が安全かつ快適に過ごしやすい環境にする為の支援、前向きに活動する為の支援を行ってまいります。



吹奏楽部

吹奏楽部活動の報告

吹奏楽部は11月9日に行われた40周年記念式典で高校生が校歌と学園歌の合唱を披露するなど、学校行事に関わったり、昨年に引き続き芝浦工業大学附属中高の文化祭にゲスト出演したりと今年度も様々な活動を行ってきました。

12月には部活内でクリスマスアンサンブル発表会を行い、パートごとの響きを磨きました。また高校生がトロンボーン部門で日本クラシックコンクール全国大会に出場しました。

現在は4月12日に開催される定期演奏会に向けての練習に取り組んでいます。臨時休校の影響もあり、十分な練習時間の確保が難しいところではありますが、夏のコンクール演奏予定曲である『「くるみ割り人形」より3つのダンスメドレー』（中）、「アトラス～夢への地図～」（高）をはじめ、大作「ミュージカル『レ・ミゼラブル』より」（高）にも挑戦します。そして今回はOBも参加しての合同演奏「ロサンゼルスオリンピックファンファーレ&テーマ」など、見どころたくさん演奏を予定しています。

最終的な開催の可否につきましては、HPにて告知いたしますので、確認の上ご来場いただきますよう、お願いいたします。

水泳部

全国高等学校体育連盟水泳専門部バルセロナ遠征報告

昨年末12/21～31の11日間で行われた水球スペイン遠征に参加させて頂きました。片道15時間のフライトを含む丸1日の移動から始まり、全国各地から選抜された実力のある選手達と、バルセロナで5日間の練習を経てリュレド・ダ・マールで開催された大会に3日間参加しました。私自身はアジアエージ選手権（インド：バンガロール）に続き2度目の海外遠征となり、そこでの多くの反省を生かす重要な機会となりました。ヨーロッパでは日本とは違い水球はとてもメジャーなスポーツとして親しまれており、また文化面でもクリスマスということもあって異文化に触れる素晴らしい経験でした。海外選手は体格も大きくプレスタイルも異なり、ボールゲーム感覚も優れていて、短期間に多くの練習や試合が一緒に出来たことで、課題も多く見つけられたものは大きかったです。大会では3位決定戦で最後の2秒で失点し惜しくも1点差で4位となりましたが、短期間でもチームメイトや監督と気持ちを1つに戦えたことは大きく今後に繋がると思います。いつも応援して下さいる皆さんにいい結果がこれからも報告できるように、努力していきたいです！



コンピュータ部

「高校コンピュータ部 活動報告」

高校コンピュータ部2年 吉越君と豊田君のチームが9月に行われた「第17回パソコン甲子園」予選を突破し、11月9、10日のパソコン甲子園本選「プログラミング部門」に出場しました。昨年度はあと一歩のところまで本選出場を逃した2人でしたが、今年度は全国43都道府県701チームの中から本選出場の29チームに選ばれました。本選の競技内容は4時間の制限時間内に、難易度の異なる問題の解答プログラムを作成するというものでした。各チームの解答状況などはリアルタイムに表示され、結果は29チーム中23位でした。本選出場が叶わなかった1年生チームも、本選と同じ時間帯に本選問題に取り組み、先輩と肩を並べる結果を残しました。

また、吉越君は情報オリンピックにおいても昨年に引き続き予選を突破し、2月8、9日に行われた「第19回日本情報オリンピック」本選に出場し、豊田君は、第2回東京公共交通オープンデータチャレンジにおいて、作品名「車いすの方向け 乗り換えアプリ」でINIAD 特別賞を受賞しました。このような先輩たちの活躍は、後輩たちの刺激になっています。次年度も先輩たちに続けるように、活動していきます。



PTA 文化講演会 一脳研究者 池谷裕二先生一

～脳を知って未来に活かす～

池谷裕二先生の文化講演会を12月7日（土）に開催しました。当日は小雨にも係わらずグリーンホールを埋める多数の保護者に参加いただきました。東京大学薬学部教授の先生はTVにも多数ご出演され皆さん顔なじみです。講演では大学で使用される貴重なスライドで脳のしくみや動き、マウスによる興味深い実験等々、収まり切れないほどの実例をご解説いただき、最後の「18の学習の流儀」では先生の弁が一層高まり、新情報はその日に復習する、モチベーションを維持できる友達を持つ（子供の脳は大人の言うことを聞くようにデザインされていない）、テストを取り入れる（インプットだけでなく思い出す）、やる気ではなくシステムに従う（徐々にやる気になる）、勉強場所を時々変える・・・という大変重要な方法もご教示いただき、参加者の質問もあって時間を大幅に超過するほど大盛況でした。芝柏へご来訪いただいた池谷先生、ご関係各位に深く感謝申し上げます。



あとかぎ

コロナウイルス騒動に映るのは、情報過多時代に毒された「情報禁断症状」人間と、自ら行動し他者への愛と思いやりの紐帯を結べる人間との格差。